

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 清流の国ぎふ芸術祭開催事業費（トリエンナーレ）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境生活部県民文化局 文化創造課 文化創造係 電話番号：058-272-1111（内3121）

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 72,795 千円 （前年度予算額： 104,000 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	104,000	0	0	0	0	0	0	0	104,000
要求額	72,795	0	0	0	0	0	0	0	72,795
決定額	72,795	0	0	0	0	0	0	0	72,795

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

新たな才能の発掘と育成、アートに関わる人材の育成とネットワークづくり、新たな形のアートの鑑賞機会を提供するため、3年に1回のトリエンナーレ方式にて全国規模の企画公募展を開催する。

（2）事業内容

令和5年に第3回となる展覧会「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」を開催するにあたり、二次審査会、オープニングセレモニー、展覧会の開幕に伴う管理運営、会期中の関連プログラム、展覧会の広報などを実施する。

【Art Award IN THE CUBE 2023の概要】

（1）AAIC2023開催概要

- ・主 催 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE実行委員会、岐阜県
- ・開催期間 2023年4月22日（土）～6月18日（日）（開館日：50日間）
- ・開催場所 岐阜県美術館 展示室（岐阜市宇佐4-1-22）
- ・テ ー マ 「リアル」のゆくえ
- ・展示点数 入選作品14点 ※2023年4月中旬に大賞、審査員賞を発表予定
- ・観覧料 無料

（2）公募概要

- ・公募期間 2021年12月24日（金）～2022年5月16日（月）の144日間
- ・応募資格 AAIC2023の趣旨を理解し、選考された場合には作品の完成まで責任を持って取り組める方（個人、グループ、年齢、国籍は問わない。）
- ・作品寸法 キューブ空間 [幅4.8m×奥行4.8m×高さ3.6m] で展示できること。
（分野・技法・手法は問わない）
- ・応募総数 574件

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	72,795	実行委員会負担金
合計	72,795	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

本負担金を受けて「清流の国ぎふ芸術祭Art Award IN THE CUBE 実行委員会」が事業を実施する。

将来的に、県内の幅広い層の参画を得ること、各種協賛金を受領することも想定して、実行委員会を継続し事業を実施する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

2023年4月の展覧会開幕に向けて、二次審査会、オープニングセレモニー、展覧会の開幕に伴う管理運営、会期中の関連プログラム、展覧会の広報などを実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① 応募総数	710件	-	710件	574件	574件	80.8%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020」を開催し、7,759人（会期30日間、1日平均259人）が来館。 ○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」開催に向けて各種検討を開始。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」の開催に向け、作品の受付（2021年12月～2022年5月）を開始。また、国内外に公募周知を図るためPRイベント・公募説明会の開催、広報等を実施。 ○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」の公募周知を図るため、国内主要都市において、PRイベント・公募説明会を開催（新型コロナ拡大等のため、東京、名古屋、福岡、京都はPRイベントの開催を中止、代わって審査員や入選作家との対談をオンラインで実施）。 ○公式ウェブサイトにて英語版を開設するなど、海外からの作品応募増に向けた取組みを実施。
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 1	県内の文化振興につながるため、事業の必要性が高い
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	第2回となる「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020」は、応募総数710件、来館者数7,759人となった。新型コロナウイルス感染症の影響で第1回よりは減少(応募総数790件、来館者数37,579人)したが、入場者を事前予約等にする中で、多くの県民等が来館した。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 1	第3回となる「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」開催に向け、外部の広報媒体の活用を通じ、効率的かつ積極的な広報を実施。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 来館者数増のため、効率的かつ効果的な広報の実施が必要。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 有識者で構成されている「清流の国ぎふ芸術祭運営委員会」及び「企画委員会」において、次期開催に向けた検討を行う。
